



はばたき学習:雪下にんじんを味わおう

津南小学校では、「総合的な学習の時間」を「はばたき」と呼んでいます。3年生からスタートするはばたき学習。まずは、自分たちの住む津南町を知ることから始めました。

「津南町にはいろいろなお店があるよ。」「〇〇に買い物に行ったことがある〜。」

「プールなどの施設があるよ。」「あ、行ったことある〜！」

「お水がおいしいよ。」「お米もおいしい。」「コシヒカリっていうんだよ。」

「今は雪下にんじんがおいしいんだよ。」「知ってる！もう食べたよ！」「ええ、今年はまだ食べてないな。」「食べたいな〜。」

そんな会話から、「雪下にんじんを食べよう！」という流れになりました。先日の学年懇談会で担任から話をさせてもらおうと、保護者のみなさんからいろいろな情報をいただくことができ、株式会社 麓さんからご厚意で雪下にんじんをいただきました。他の方からも「少しなら用意できるかもしれない…。」「もし、お困りなら…。」と声をかけていただき、心から感謝しています。本当にありがとうございました。



さらに、その後全校の子どもたちの分も雪下にんじんを分けていただき、「おいしさを全校に放送してアピールしよう！」「雪下にんじんのことをポスターで伝えよう！」「麓のみなさんにお礼を書こう！」と子どもたち。張り切って活動しました。

子どもたちのふり返りより

- あじは、ふつうのにんじんよりあまくて、みずみずしくて、みんながたくさん食べました。ふつうのにんじんよりもそだてる時間やお金が2ばいかかっているそうです。そんな雪下になんじんを食べられるつなん町はさいこうです！
- ぼくは、になんじんがきらいだったけれど、食べられました。おいしくて3本食べました。おいしい食べ方は、マヨネーズです。家でもいっぱい食べました。このあじを全国に広めたいです。
- わたしは、学校で雪下になんじんのそだて方などを学びました。たいへんなさぎょうなんだなと思いました。そして、つなん町は雪下になんじんが食べられてすごいなと思いました。
- 雪下になんじんは、食べたなかで一番すきなになんじんでした。おいしくてすきです。になんじんがおいしいつなん町にうまれてうれしいです。
- ぼくは、になんじんが大すきなので2本もらって帰りました。みそマヨネーズでたべました。ろくのみなさん、ありがとうございました。

今しか味わえない雪下になんじんを食べる活動をきっかけにして、「すばらしい津南町のことをもっと知りたい！」「これから探検していこう！」と意欲を高めた子どもたちです。はばたき学習のよいスタートが切れました！